

西臼杵地区木犀会定期総会 報告

1. 日時 平成 26 年 3 月 14 日（金） 11 時～14 時 30

2. 場所 レストランみずき

3. 会次第

開 会

会長挨拶 野尻泰弘

25 年度の会務報告と木犀会創立 129 周年記念行事への参加報告を行った。

来賓挨拶 木犀会本部 前田 稔

会員拡充のために入学の時に同窓会入会費を集めることを大学当局にご了解をいただきこの 4 月から実施に踏み切ること、木犀会員同士の情報共有と同窓会の現状把握を図るためにこれまで以上に本部から情報発信を行い、各支部からの情報も掲載するようホームページをリニューアルしたこと、さらには木犀会報とホームページに掲載する内容の棲み分けが必要なこと等の説明を行った。

協議

- 平成 25 年会務報告
- 平成 25 年度決算報告
- 平成 26 年度予算案

○ 平成26年度役員選出

予算・決算報告も了承され、来年度も同じ役員体制で運営されることになった。

閉 会

4. 会 食

総会の後料理を囲み懇親会が行われた。日常の生活や趣味その他自由な立場で意見交換を行ったが、一番の悩みは会員の減少に歯止めが利かないことであった。当日も病気等のため急きょ欠席の連絡が入った。しかし、会員の現状報告の中で新しく入会する可能性のある人物が話題に上がり、説得して入会を勧めることになった。

和気あいあいの中で出た話題は、現職中の人間関係や上司と部下の在り方、さらに、高千穂地方に伝わる伝説や旧跡、大人（おおひと）歌舞伎の由来、伊能忠敬の宿泊した家やその言い伝え、延岡の高橋元種、甲斐宗摂、高千穂太郎の勢力争いにまつわる興味深い話、この地方に伝わる鬼八伝説等々話が盛り上がり時間の過ぎるのが早く、あっという間に懇親会が終わった。会員相互の親睦が深まり、元気なうちは総会に出るのが一番であるという元気の出る話もでた。参加人数は少なかったが、会員の意気込みを感じる日となった。

協議の様子



会務・会計報告 野尻会長



和気あいあい

つい話に力が入った瞬間



最後に気持ち良く記念撮影



自分たちが語り部になって高千穂の文化や伝説を後輩たちに語り継いでいく必要性を自覚する会となった。